

特別養護老人ホーム 第二天神の杜

ま す な

- 絆 -

第 51 号

2024 年 6 月 30 日発行



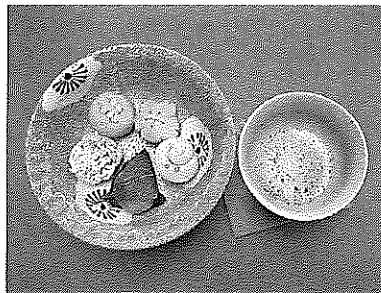
(西代里山公園にて)

第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

施設から活動報告

4月2日 春のお茶会

1階 小川のテラスにて入居者様60名の方が参加されました。桜やミツマタの切り花を愛でながら、家族の会からの生菓子と職員が点てたお抹茶をいただきました。「きれいなお饅頭」「甘くて美味しい」「ほっこりするな〜」など多くの笑顔が見られました。

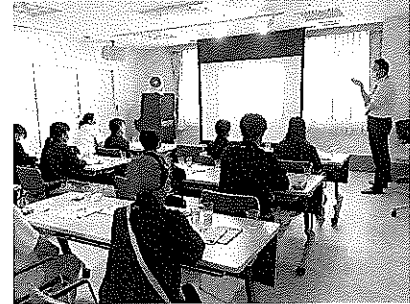


職員勉強会

5月16日 トロミの勉強会

業者の方に来ていただきトロミについて学びました。

嚥下状態が悪くなってこられると水分にトロミ剤を使用します。綺麗に溶けないと誤嚥のリスクに繋がるので、その危険性について話していただき、改めて認識を新たにしました。



5月21日 排泄の勉強会

排泄用品のアドバイザーの方に来ていただき勉強会を行いました。今回は「陰部洗浄・スキンケア」について学びました。分からないことを質問することで、正しい知識を得ることができました。



6月 ストレスケアマネジメント

ユニットミーティングの際にストレスケアマネジメントについて話をしました。

まずは自分がどんな時にストレスを感じるかを知ること、自分自身のストレス発散方法を持つことが、いかに大切であるかを学びました。

施設からのお知らせ

面会について

4月中旬より家族様の面会を喫茶コーナーから居室面会に切替え3か月近くが経ちます。

居室で面会することで家族様から「居室内で家族とゆっくり話せて嬉しかった」「喫茶コーナーと違い、居室でリラックスしている母の姿を見て安心しました」「ユニットのリビングをみて家と同じように過ごしていると感じました」「職員の方が丁寧に対応しているのが見れて良かったです」など話されています。

職員も「家族様が入居者様と一緒に空間で過ごせて良かった」「普段のご様子を知ってもらえて良かった」と話しています。

第二天神の杜では家族様と入居者様ができるだけ近くで過ごしてもらいたいという思いで面会の場を設定させていただいています。

コロナウイルス感染症のニュースを最近ではほとんどみることがありません。

このまま風邪と同じような対応で問題がなければ、居室面会の枠や時間をさらに広げることができるのではないかと考えています。

しかし高齢者施設によっては、感染対策として居室面会に切り替えていない施設もまだまだあります。現時点でも京都府からは高齢者施設においては、今まで通り感染対策に十分に気を付けるようにといわれています。職員は常にマスク着用・食事介助時にはフェイスシールド使用して感染対策に努めています。コロナウイルス感染症が完全になくすることはありませんので、今後、入居者様から感染者が発生することがあれば、感染が落ち着くまでは面会中止とさせていただきます。皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いします。

ユ ニ ッ

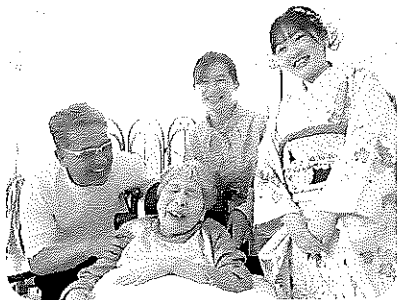
わかくさ



5月8日 たこ焼きパーティー
皆さんでできたてのたこ焼きを
いただきました。



さわらび

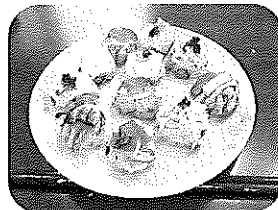


5月25日 ハンバーグランチ
職員特製のチーズハンバーグを、
皆で美味しくいただきました。

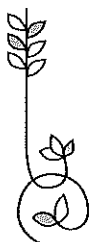
5月18日 喫茶でのひと時
あでやかな着物を着たお孫様が来られ
家族様の笑顔に囲まれて、穏やかなひと
時を過ごされました。



なでしこ

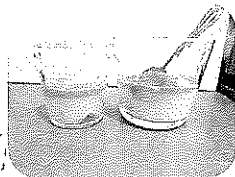


4月13日 手毬寿司作り
春らしく皆様と手毬寿司を
作りました。



ト 報 告

ききょう

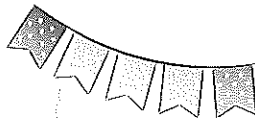
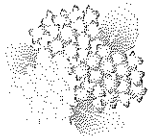


5月10日 デザートドリンク
クラッシュしたコーヒーや抹茶味のゼリーに
甘いミルクをたっぷりかけたら…ドロリッチ
みたい。太いストローでいただきました。



4月17日 誕生日のお祝い
誕生日にいちご大福を作りました。ソフト食の方
もペーストにして食べていただきました。

はぎ



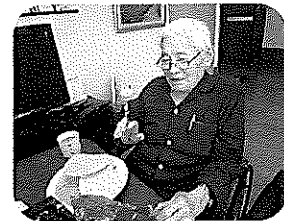
5月4日 鯉のぼりプリン
プリンの上に苺を飾り、鯉のぼりに
見立てて作りました。



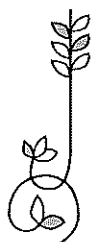
こぐり



5月5日 ホットケーキ作り
自分たちでホットケーキを焼
いて熱々を美味しくいただき
ました。



4月21日 誕生日会
誕生日のケーキを手作りして、皆様でお祝いしました。





ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

今、思うこと

鈴木 悦子

母は2021年12月、第二天神の杜に入居しました。

その数年前、私は夫の京都への転勤を機に一人暮らしの母の元へ家族と戻ってきたのですが、元来自立心の強い母は、人に任せるといことが苦手で、何でも自分でしないと気が済まず、また、娘である私よりも優位に立っていたかたよう、私がよかれと思って言うこと、することすべてが気に入らず、全て否定、拒否でした。

そのうち認知症が進み、自分で出来ないことが増えて来ると、イライラが私への暴言になったり、それでも全て自分で、という思いで、私が気付かないうちに出掛けて行って帰れなくなり、警察から連絡がきたり、道で転んで救急車で運ばれ、病院から連絡が来ることも度々でした。警察や病院に迎えに行っても、うちに帰ると私への暴言、悪口。

2021年秋、母は夜中も勝手に出て行くようになりました。

その頃私は、長岡京市全ての特養へ申し込みに行き、行った先ではどこも入居は難しそうだと思い知らされ絶望の中にいました。

この状況がいつまで続くのか？ と。ショートステイを利用しながらも、母が家に帰ってくる日は、いない日との落差で余計に辛く、帰ってきた母が何を言い出すのかとびくびくしていました。ショートステイやデイサービスでお世話になっている方や家の近所の方には、暴言を吐くことも無く、普通に接していたみたいで、娘である私だけは、遠慮がないからなのか全て感情をおつけてきていたのでしょうか。

2021年12月、第二天神の杜の生活相談員さんから突然電話がかかってきました。絶望の中にいた私は、この電話で救われました。

母が第二天神の杜へ入居した時はコロナ禍で家族は部屋にも入れず、荷物の搬入も部屋を整えるのも職員さんにお任せ。家族がするべきことまで職員さんの負担になってしまいました。

施設で母の様子を直接見ることが出来ませんが、頻繁に電話で様子を知らせて下さり、又、玄関越しの面会の時には、付き添っている職員さんから普段の様子を聞いてありがたかったです。その場での職員さんと母のやり取りを見て、職員さんを信頼して楽しそうにしていました。洋服や、テッシュペーパー、トイレットペーパーに至るまで、とにかく自分なりのこだわりが強く、人の言ったことより自分の考えが優先で、一筋縄ではいかない母ですから、日々の生活でも大変な迷惑をかけたことと思います。

入居してからも、母はじっとしていないで、ずっと歩いて、いつも動いているらしく、何度も転倒を繰り返し、病院へ行くことも度々でした。大事に至りませんでした。転倒をすると必ず報告の電話がかかってきました。

数えきれない回数の電話をもらいましたが、その一つ一つが改めて施設への信頼に繋がりました。そして転倒した回数の何倍、いいえ何十倍もの回数を、職員さん達は体を張って転倒を未然に防いでくださっているのだと思うと感謝しかありません。

それだけ動き回って迷惑をかけていた母ですが、昨年（2023年）10月、脳出血で入院しました。

いつもより元気がないなあという段階で気付いて下さったおかげで、出血も治まり退院して第二天神の杜に戻ることが出来ました。玄関まで来て「おかえり」「よかったね」と職員さんの迎えに来て下さる姿を見て、母が帰る場所はここしか無いと改めて思いました。

退院後は手足に麻痺があり、全介助となりました。瞼を上げる力も無くなったのか、目もほとんど閉じた状態です。車椅子かベッドの上だけで過ごす日々でしたが「今まで動き回っていて、職員がゆっくりとかかわれなかったけれど、全介助になった今だからゆっくりとかかわれるから、今の状態の時間もとても大切な時間です」と言ってもらえて、やっとゆっくりと穏やかな時間の流れの中で過ごせているなら、今の状態も幸せなのだと思います。

眼を閉じていても、香は感じられるからと部屋にアロマを置いて下さったり、時々目を開けることもあるので、その時のためにと視界に入る所にお花を飾って下さったりと、職員さんの思いの深さ、優しさに感動しました。

食事がほとんど摂れなくなってからも、あんこが好きだったからと液状にしてくださったあんこを舌の上に数滴。美味しそうに味わっていたそうです。

全てのことが、母のためという思いでして下さっていたことが私も嬉しかったし、本当に母は幸せだったと思います。

4月、母は息を引き取りました。夜中でしたが、職員さんに見守られながらの最期だったようです。明け方、私が見た母はとても若々しく、とても綺麗な顔でとても穏やかな表情をしていました。私が知る中で一番素敵で一番きれいな母でした。

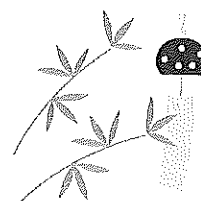
第二天神の杜に入居して2年4か月。とても幸せな2年4か月を過ごしたんだと確信しました。私は、娘として母に対して至らないことだらけでしたが、第二天神の杜にお世話になれたおかげで、後悔はひとつもありません。

職員さんから「伝説に残る」と言われたり、母の介護を通して「すごく勉強させてもらいました」等と言われるほど、職員さんの手を煩わせたり、悩ませたり迷惑をかけ通しの2年4か月だったと思いますが、それでも母の言葉を尊重して、その上でどうしたらいいのかと色々と考えて、日々試して工夫して下さっていた様子は伝わっていました。申し訳ないなあという思いと共に、こんなにまで考えて下さっているのかと、有難い思いでいっぱいでした。

今回このような機会を頂き、とりとめもなく今の私の思いを綴らせていただきました。

第二天神の杜で、母に関わって下さった全ての皆様に感謝をしているかという思いが伝わればいいなと思います。

本当にありがとうございました。



☆ 2023年度決算について（報告）

収入の部では、介護保険事業収入は、事業全般において利用率が目標を達成できず、大きく減収となりました。その要因は、両施設の特養では、退所者数が前年度に比べ約1.6倍に増加したこと、これに伴う入居者決定までの日数が以前に比べ長くなってきていることが原因となっています。また、ショートステイでは2022年度のコロナウイルス感染のクラスター発生の影響が本年度にも及び、稼働率の低下・収入減の大きな要因となりました。

介護保険事業収入は、756,362千円と昨年度に比べ21,170千円の減額となりました。

支出の部では、前年度に比べ人件費が△11,395千円、その他の経費では主に給食委託費、水光熱費の一般経費が△16,960千円となりました。

事業活動資金収支差額は前年度の31,147千円から968千円減額の30,179千円となりました。

2023年度決算については、2024年6月8日開催の理事会並びに6月25日開催の定時評議員会で承認されましたことをご報告いたします。

なお、2023年度決算の厳しい状況を踏まえ、更なる財務状況の改善に取り組み、この厳しい局面を職員一丸となって乗り切ってまいります。

【社会福祉法人長岡京せいしん会 2023年度 決算報告 抜粋】

2023年度 社会福祉法人 長岡京せいしん会 決算報告書
(自) 2023年4月1日 (至) 2024年3月31日

単位：千円

勘定科目	法人合計	社会福祉事業			公益事業
		天神の杜	第二天神の杜	予防型デイ	居宅介護支援事業所
●事業活動による収支					
介護保険事業収入	756,362	412,130	317,842	16,337	10,053
その他の事業収入	0	0	0	0	0
補助金収入	11,733	6,098	4,947	488	200
その他の収入	7,016	4,932	1,902	133	49
事業活動収入計①	775,111	423,160	324,691	16,958	10,302
人件費支出	512,658	314,364	187,165	0	11,129
一般経費支出	227,499	123,885	97,025	5,603	986
その他の支出	4,775	986	3,707	66	16
事業活動支出計②	744,932	439,235	287,897	5,669	12,131
事業活動収支差額③=①-②	30,179	▲ 16,075	36,794	11,289	▲ 1,829
●施設整備等による収支					
施設整備等収入計④	5,804	0	5,804	0	0
施設整備等支出計⑤	31,949	3,148	28,664	34	103
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	▲ 26,145	▲ 3,148	▲ 22,860	▲ 34	▲ 103
●その他の活動による収支					
その他の活動収入計⑦	30,941	30,941	0	0	0
その他の活動支出計⑧	24,080	0	16,080	8,000	0
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	6,861	30,941	▲ 16,080	▲ 8,000	0
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	10,895	11,718	▲ 2,146	3,255	▲ 1,932

※資金収支計算書より抜粋

社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒 617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjinnomori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]